



模擬講義一覽

学 類	専 攻	講義 NO.	時間	会 場		時 間	講義テーマ・概要
				建物	教室		
人間発達文化学類	人間発達専攻	①	11:00 ～ 11:30	L棟	L-4	住吉 チカ	「心理学とは？」 心理学を学ぶと「人のこころがわかる」と考えている人も多いと思います。しかし、実際にはそのような学問ではありません。「人内面での情報処理」を、行動・観察・調査を通して推察してゆくことが、主な研究内容になります。本講義では、「認知心理学」を例として、現代の心理学の内容や研究アプローチについて紹介します。
		②	11:00 ～ 11:30	M棟	M-2	阿内 春生	「教育を「仕組み」から考えるー先生のお給料と地方分権」 地方分権改革って知っていますか？高校生の皆さんが生まれた頃(1990年代後半)から国の仕事を都道府県や市町村に移すという改革がおきました。なぜ、そんなことをしたのか、結局どうなったのか、小中学校の先生のお給料を例にして教育の地方分権を考えましょう。
		③	12:55 ～ 13:25	M棟	M-2	高橋 純一	「多様性を認めた特別支援教育の展開」 最近の特別支援教育では、児童生徒の能力の多様性を理解した上で、個々の教育ニーズを満たす指導の必要性が謳われています。今回の模擬講義では、発達障害を取り上げて、「二分法的な障害概念」から「連続体としての障害概念」への変容について紹介します。「人間の多様性」について一緒に考えてみましょう。
		④	13:40 ～ 14:10	L棟	L-4	菅家 礼子	「体育科教育の話あれこれ」 小、中、高における教科の実践が「授業」です。いくつかある教科の中の一つに体育科があります。体育の授業について考えるきっかけとなるトピック的な話をいくつか紹介します。主に、小学校における「体育の授業」について考えます。
		⑤	14:25 ～ 14:55	M棟	M-1	大宮 勇雄	「幼児期に育つ大切なもの～学び手としての自己像の獲得」 子育てや幼児教育の在り方については、「早期教育、どしどしやるべし」論から「学校に入る前は楽しく遊べ」論まで、あるいは「若い親はしつけがなっていない」論から「しつけは子どもの自由な精神を脅かす」論までと、百家争鳴の観があります。乳幼児という時代はどんな意味を持っているのか、現在までの研究の成果で明らかになっていることを紹介します。
	文化探究専攻	⑥	11:00 ～ 11:30	M棟	M-1	高橋 由貴	「宮沢賢治「風の又三郎」と気象」 宮沢賢治は、微粒子が飛び交う水溶液のようなものとして宇宙を捉えていました。この賢治特有のコロイド宇宙観を確認し、童話「風の又三郎」を気象という観点から論じてみたいと思います。風や雨や雲についての独特な表象と一緒に見てみましょう。
		⑦	11:45 ～ 12:15	M棟	M-1	高橋 優	「ドイツ語圏の言語と文化入門」 私はドイツ語、ドイツ文化に関する科目を担当しています。英語圏でも日本語圏でもない未知の言語、文化に触れることは、既知の文化圏の価値観を今までは違った目で見ることにつながります。講義では「ドイツ」という他者を知ることを通じて、自らを顧みるきっかけを提供したいと思います。
		⑧	13:40 ～ 14:10	M棟	M-1	鍵和田 賢	「おとぎ話に史実を探る——近世ヨーロッパの民話と民衆世界——」 我々が知っている世界の歴史とは、その大半が王朝の興亡であったり国家間の戦争であったりします。それでは、そのような過去の時代に生きていた、「ふつうの人びと」は、日々何を考え生活していたのでしょうか。この講義では、近世ヨーロッパを舞台に、当時の民衆が語り伝えていた「民話」を題材として、その背後に見え隠れする民衆たちの生活・思考に迫ります。
		⑨	14:25 ～ 14:55	M棟	M-2	濱野佐知子	「複素数あれこれ」 実数の世界を飛び出して、2乗したら負になる数、複素数の世界で遊んでみましょう。実3次元空間では直接目で見ることができない実4次元の世界ですが、複素変数の関数に触れることで、心の中に確かにある、と実感していただければ幸いです。
	スポーツ・芸術創造専攻	⑩	11:00 ～ 11:30	音楽棟 3階	合奏室	金谷 昌治	「ヴァイオリンを弾こう」 私は「合奏」の授業を担当しています。合奏とは様々な楽器を用いて大人数で同時に演奏することです。そこには一人では味わえない大きな音のうねりがあり、豊かな響きや美しい音を探しながら、音楽的な深い喜びを感じることが出来ます。大学の授業では、まずヴァイオリンの奏法を学ぶことから始め、器楽の表現について知識を深めながら合奏の実習へと進んでいきますが、今日はまず、「ヴァイオリンを弾こう」。
		⑪	11:45 ～ 12:15	L棟	L-4	白石 豊	「プレッシャーとどう戦うか」 たいていの人は、試合や試験などの本番で、大きなプレッシャーに襲われて失敗してしまいがちです。私はこれまで25年以上にわたってオリンピックやプロの選手たちにメンタルトレーニングを指導してきました。今回の講義では、そんな経験を踏まえて、高校生にもできる「プレッシャーに強くなる方法」をお話しします。
		⑫	12:55 ～ 13:25	M棟	M-1	渡邊 晃一	「『アート』とは何？ 《モナ・リザ》と美術の解剖学」 近年、私は映画「万能鑑定士Q モナ・リザの瞳」のなかで《モナ・リザ》の秘密を監修しました。今回は《モナ・リザ》の話を基軸に、絵画、彫刻、工芸、デザイン、メディア表現(写真、映画、マンガなど)との関わりから「アート／美術」が人間に果たす役割を探っていきましょう。
		⑬	14:25 ～ 14:55	M棟	M-23	中村 民雄	「そんなすごい物があったんだ：福島のスポート史」 福島の皆さん、剣道の里 伊南村をご存じでしょうか。また、そこで発見された剣道具があることをご存知でしょうか。この剣道具は現存する日本最古のものです。形や作りは如何にも手づくりといったものですが、そこから剣道の歴史や文化の伝播をひも解いていきたいと思っています。

学 類	専 攻	講義 NO.	時間	会 場		時 間	講義テーマ・概要
				建物	教室		
行政政策学類	社会と文化専攻	①	10:15 ～ 10:45	M棟	M-21	川端 浩平	「地域社会からグローバル化を読み解く」 ショッピングモールやファーストフード店が林立する地方都市郊外のロードサイドに広がる風景は日本全国どこに行っても同じ。なぜそのような味気のない風景が広がっていったのでしょうか？グローバル化をキーワードに考えてみましょう。
	地域と行政専攻	②	10:15 ～ 10:45	M棟	M-22	岩崎 由美子	「農山村地域の再生」 “限界集落”、“耕作放棄地”など、農山村地域をめぐる問題は数多く指摘されているが、その一方で、地域住民が外部の支援者とのネットワークを豊かに育みながら、地域づくりに取り組む試みも各地に生まれている。大学生が活躍する事例も増えてきた。授業ではこれらの取り組みに焦点を当て、農山村地域再生の方向性について検討したい。
	法学専攻	③	13:40 ～ 14:10	M棟	M-21	福島 雄一	「損害賠償と保険の仕組み」 平和な暮らしが続けばいいのですが、人生時として事故、病気、災害に見舞われることがあります。その際に直面するのが損害賠償の法律問題です。身近な日常生活に潜むこれらのリスクを例に法律学入門の話をします。
経済経営学類	国際地域経済専攻	①	11:00 ～ 11:30	L棟	L-2	吉田 樹	「交通まちづくりの経済学入門」 市民の暮らしと交流を支える「交通」。わが国でも地方都市を中心に、交通を活かしたまちづくりの取り組み(交通まちづくり)が進められています。地域公共交通の衰退や市街地の空洞化が問題とされるなかで、交通まちづくりはどのように貢献できるのか。経済学的な視点を交えながら分かりやすく紹介します。
	経済分析専攻	②	11:00 ～ 11:30	M棟	M-4	井上 健	「統計学的に判断する」 少し前に比べると統計学という言葉に耳にする機会は増えたかもしれません。時には万能と聞こえるような表現も見られますが、実際にはどうなのでしょう。私たちの日常、仕事の現場など様々な側面で役に立つ場合が多いのも事実です。一方で使い方を間違えると大失敗も。いくつかの事例をお話したいと思います。
	企業経営専攻	③	13:40 ～ 14:10	L棟	L-2	衣川 修平	「企業の成績表『財務諸表』を解読しよう」 企業は通常1年に1回、自らの成績表である「財務諸表」を株主さんやそのほかの関係者に報告しなければなりません。実はこの財務諸表には、驚くような企業秘密が書かれています。その秘密と一緒に解読してみませんか。そしてなぜ企業はそのような秘密を公開するのでしょうか。一緒に考えてみましょう。
共生システム理工学類	人間支援システム専攻	①	11:00 ～ 11:30	M棟	M-3	二見 亮弘	「人支援のための神経工学入門」 人の運動機能は神経・筋・骨格系によって実現されており、スポーツ事故や脳血管障害で神経系の一部が損傷すると麻痺が生じますが、そのような場合に有効な支援方法として、機能的電気刺激法があります。この講義では、体内の末梢神経を電気的に刺激する方法について、神経の振舞いの数理モデル、電気刺激に対する応答のしくみなどを説明したあと、現在開発中の装置による刺激実験の実演を行います。
		②	11:45 ～ 12:15	L棟	L-3	篠田 伸夫	「ビッグデータと情報社会」 コンピュータをはじめとする情報技術の発展により、膨大なデータを高速に処理することができるようになり、気象予報や交通予測などで役立っています。一方、あらゆる場所であらゆるデータが時々刻々と収集されることにより、処理するべきデータも膨大な量になっているのが現代社会です。これらのデータの扱い方が社会をどう変えていくのか、応用例を交えて、みなさんと考えていきたいと思っています。
	産業システム工学専攻	③	11:45 ～ 12:15	M棟	M-3	中川 和重	「世論調査にみる内閣支持率の信頼性」 テレビ、ラジオ、インターネットで目にする内閣支持率調査。調査をうけた人は意外に少ない。では、この支持率はどれくらいの信頼性があるのだろうか？ 数学の視点から見てみよう。この模擬講義は、本学開講科目「確率統計学」の一部をオープンキャンパス向けに再構成したものです。
		④	13:40 ～ 14:10	L棟	L-3	金澤 等	「水と色から分子を考えよう-水に濡れるプラスチックが飛行機の接着に発展!」 ヒョーキ雲って何？水は空気よりも軽いはず、しかし、川や海は水でできている。一方、空から降る雨も水。水は無ければ生きていけないが、災害にもなる。水を分子レベルで理解しよう。水を吸うプラスチックを作り、その技術を発展させて、注射器や自動車・飛行機の材料開発ができた。最新の研究成果を紹介します。それから、「県民として知っておきたい放射性セシウム」の話もします。
	環境システムマネジメント専攻	⑤	11:00 ～ 11:30	L棟	L-3	兼子 伸吾	「絶滅危惧種を保全する」 日本は先進工業国でありながら、多種多様な生物が生育する生物多様性のホットスポットとして知られています。その一方で、多くの動植物において、絶滅が危惧されており、様々な保全対策が実施されています。この講義では、絶滅危惧種やその保全の現状について紹介します。
		⑥	13:40 ～ 14:10	M棟	M-3	川崎 興太	「都市計画・まちづくりと私たちの暮らしと場所」 「都市計画・まちづくり」とは、生活者が豊かに生きていけるように、歴史を振り返り、将来を見据えながら、暮らしと場所を計画・デザインする学問であり実践です。時代が大きく転換しつつある中であって、私たちの暮らしと場所はどのように変化しつつあり、どのような計画・デザインが求められているのでしょうか？ その一端を紹介します。